

まえがき

里村卓也¹

本報告書は、平成 24 年度学事振興資金による研究補助(研究科枠) による(通称)「大学院高度化推進研究プロジェクト」の成果報告書である。

平成 24 年度(2012 年度)の商学研究科の大学院高度化推進研究プロジェクトは、「日本再興のための企業・経済研究」を統一テーマとして下記の趣意のもと実施された。

東日本大震災からの復興、世界的経済危機や新興国の台頭への対応、国の財政状況の悪化と人口減少・超高齢社会への到来等々、日本社会は多くの解決すべき課題を抱えている。我々はこのような日本社会が抱える重大な課題に対して正面から向き合い、日本再興へ向けた道を切り開いていかなければならない。そこで今年度の研究テーマを「日本再興のための企業・経済研究」とし、経済、経営、商業、会計の各研究分野において企業・経済研究の視点から日本再興へ向けた課題を明らかにし、その解決策について提案することで、日本再興に貢献していきたいと考える。

今年度の商学部の統一テーマ(親課題)「日本再興のための企業・経済研究」のもと、多様な専門分野を擁する商学部、商学研究科の特長を生かし、総合的かつ多角的な分析を試みる。

この統一テーマのもと、商学研究科の各分野からの積極的な参加を得て5つの個別研究プロジェクトが実施された。これらの研究プロジェクトにおいて研究分担者(いずれも商学研究科委員)の指導のもと、主として商学研究科大学院生によって実りのある成果が得られたものと思う。

プロジェクトの成果は、2013 年 6 月 15 日(土曜日)に開催された研究成果報告会(三田キャンパス南校舎 465 教室)において報告された。研究成果報告会では1プロジェクトにつき1編の論文の報告を行ってもらった。本報告書にはこれら5編の論文に1編を加えた、計6編の論文を収めている。

なお、本報告書は、昨年に引き続き印刷配布はせず、商学研究科の web サイトでのみ公開している²。

¹ 2012 年度プロジェクトコーディネーター(研究代表者)、慶應義塾大学大学院商学研究科委員

² 公開にあたり、商学研究科委員神戸和雄准教授にご協力いただいた。記して感謝の意を表します。